

鹿児島中央高校伝統行事

南薩路遠行

H28.10.14 (金)



「長距離を踏破することによって、生徒の士気の高揚と体力の向上を図るとともに、自然への関心や理解を深める態度を養う」という目的のもと、今年度も無事行われ、今年はずり空で気温も程よく、良い天候に恵まれての遠行でした。

男子 ベスト10

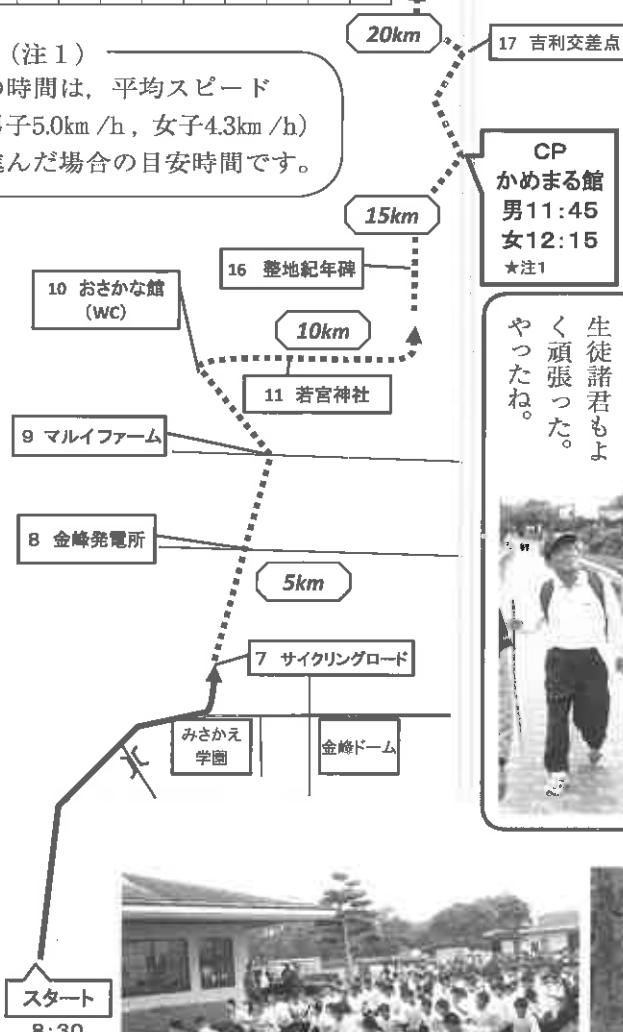
10	7	7	7	6	5	4	3	2	1
2-8	2-6	2-4	1-8	2-1	2-8	3-5	2-7	2-8	2-6
吉松	松田	清藤	原田	野下	池田	西田	中村	三垣	竹井
良将	佳大	亮	快晴	昂陽	慎也	雲水	克暢	祐貴	
2:34	2:31	2:31	2:31	2:29	2:27	2:23	2:20	2:01	1:49

新記録達成!!

女子 ベスト10

10	10	8	8	7	6	3	3	3	2	1
2-3	2-4	2-4	2-1	2-1	2-7	1-4	1-8	2-7	1-6	2-2
川添	立石	日高	日高	永田	辻	福田	花房	森園	本村	和田
里紗	夕理	華乃	菜月	彩良	悠華	莉音	七海	さくら	美南	詩帆
3:53	3:53	3:45	3:45	3:36	3:32	3:30	3:30	3:30	3:08	3:01

★(注1) この時間は、平均スピード(男子5.0km/h, 女子4.3km/h)で進んだ場合の目安時間です。



徳重神社へ最後の階段!

校長先生・事務長先生も踏破!
 完全踏破の達成感 校長 江口 公三
 今年の南薩路遠行はことの外思いが強い。教職最後の年であるからか。三年生との霊峰高千穂峰登山に始まり、大きな学校行事はこの遠行が最後となる。思い出に残る行事が一つ一つ終わっていく。スタートで号砲を鳴らし、事務長さんとすぐに歩き始める。周りの景色を楽しみ、若い生徒と語らい、通り過ぎる人との挨拶など前半は快調。チェックポイントでの保護者(母)からの温かいおもてなし。後半は足の痛みも感じながら、徳重神社に到着できた。「やったー!」という達成感は、歩いている途中の、辛さやきつさはこの瞬間大きな自信と喜びに変わった。生徒諸君もよく頑張った。やったね。



PTA広報紙
鹿児島中央
 発行
 鹿児島中央高等学校PTA
 TEL.226-1574
 発行責任者
 PTA会長 永田晋一
 印刷
 樹あすなる印刷

子どもたちの完走を支える

母の部会のサポート

遠行に参加する子どもたちのサポートのため、早朝から集合して休憩所の設営から運営活動、片付けまでを行いました。日置市特産直販施設のかめまる館と日置市立住吉小に置かれた休憩所で、30km踏破を目指す子どもたちを支えます。ポカリスエットや麦茶といった飲み物や、バナナに飴にチョコレート、そしてレモンのはちみつ漬けとレモネードといった多岐にわたる飲食物を用意しました。

南薩路遠行のお手伝いをして

母の部会部長 木之下紀子

母の部会では、南薩路遠行当日、休憩所であるかめまる館と住吉小学校で、子供達に麦茶等の提供や、沿道での応援等のサポートをしました。

今回、遠行当日は、曇り空で小雨がぱらつき、テントで控える母達にとっては少し寒かったのですが、30キロを踏破する子供達には、絶好の日だったと思います。

母の部会部長の方は早朝からの役務でしたが、恒例のレモネードや麦茶を一人一人に提供しながら、「お疲れ様」「大丈夫ね？」と声を掛け、子供達との会話に一喜一憂。高校生になった子供達と、こんなに間近に言葉を交わし、触れ合う時間を持つ事が出来て楽しかったという感想を頂きました。中央高校生は、みんな、素直で優しい子供達ばかりでした。私も、この場に関わられた事に、深く感謝したいと思います。



感謝！ 母の部会！

自立たないけれども大切な心遣い

- かめまる館、住吉小で使用した場所は、終了後綺麗に掃除しています。また、トイレ掃除や汚物処理もお母さんたちがいつもきちんとされています。
- 今年のかめまる館でトイレトーパーが足りなくなって大変でしたが、お母さんたちが買っていただいたものやポケットティッシュで事なきを得ました。
- はちみつレモンは15名のお母さんたちが作られました。遠行の1週間前から毎日レモンと蜂蜜をかき混ぜてなじませ、当日に備えてくださっています。本当に助かっています。ありがとうございます！

第1休憩所 かめまる館

あと半分！ 中間地点の休憩所

全行程30kmのちょうど中間地点にあり、チェックポイントになっています。子どもたちは全員ここに立ち寄ってチェックを受け、各自休憩や昼食をとった後、残り半分に向けて出発します。



PTA会長もサポート！

笑顔とのふれあい PTA会長 永田晋一
今年、チェックポイントで給水等のお手伝いをさせていただきました。頑張っている子供達の姿と笑顔を見ることができ、子供達から元気をもらうことができた一日でした。辛くても自分の目標に向かって歩み続ける子供達、和気あいあいと友達と励ましあいながらゴールを目指し歩く姿は、応援する母の部会の参加者みんなを笑顔にしてくれました。



参加された皆様、本当にお疲れ様でした。そして、生徒の皆さん、声援にこたえた笑顔がありありがとうございました。

第2休憩所 日置市立住吉小学校



ゴールまであと少し！その前に…

最後の急坂に挑む前の一休み。「つかれているところすみません。ぼくたちとサッカーしてくれませんか。おねがいします。」と書かれた紙を持ってやってくる小学生たちに全力で答える中央生。お菓子とレモネードで体力を回復させて、ラストスパートをかけます。



母の部会アンケートより 感想を紹介！

頑張っている子ども一人一人に声かけができ、素晴らしい体験ができました。身近に子どもたちの様子を見ることができてとても良かったです。どの子も素直で礼儀正しく、中央生の良さを再発見しました。ほとんどの生徒さんが「いただきます。」「ありがとうございます。」「おいしです。」「とちゃんとお礼を言ってくれて、とても嬉しかったです。とても楽しく母の部会活動ができました。元気な子どもたちに、元気を貰いながら楽しくお手伝いさせていただきました。子どもたちに対する、先生方の温かいサポートを感じました。自分たちも相当疲れているのに、住吉小の児童と一緒にスポーツをしている子どもたちの姿が微笑ましかったです。高校ではお母様方と話す機会が少ないので、他学年の保護者の方々と親睦がはかれて、楽しい交流の場になり、有意義な一日でした。お母様方の実際の良さに感動しました。準備等ご苦労された役員の方々にも感謝申し上げます。



第54回体育祭 中央旋風 ~青春の風に乗れ~

H28. 9. 10 (土)

競技の部・応援の部 優勝 紅軍!!



輝く汗、こぼれる涙、全員がひとつに

秋晴れの中、第54回体育祭が行われました。今年の優勝は、競技の部・応援の部ともに紅軍（二年生）。どの学年も勝利を目指して一丸となっていたようでした。今回は、それぞれの軍の応援団長とその保護者に一言いただきました。

緑軍（3年）

「青春の体育祭」
感動、達成感、笑顔で溢れた体育祭でした。五十二期緑軍全員での円陣、各競技、応援合戦全てで団結する姿に感動し、演舞中も涙が止まりませんでした。優しく、個性豊かで天真爛漫な応援団員や緑軍で「一つ」になれて幸せでした。最高の青春をありがとうございました。
（緑軍団長・末吉 桃佳さん）
娘は、三年間緑軍団長でした。頼りになる仲間を支えられ、最後の演舞は応援団だけでなく学年が一つになった感動する演舞でした。五十二期生にとって心に刻まれるような青春の一ページとなる体育祭になったのではないのでしょうか。
（保護者・末吉 春香さん）

紅軍（2年）

「最高な一日！」
本当に大勢の人に支えられ、紅軍応援団長を務めることができました。二年生全員、一人一人が紅軍の優勝という一つの目標を目指し、そして勝ち取った総合優勝！応援を盛り上げ、さらに私に優勝カップを持たせてくれた紅軍メンバー全員、ありがとうございました。（紅軍団長・西 真生さん）
凛々しい十七人の娘たちに感動させられました。嗚呼感動！体育祭の応援は大好きです。大きな声援の中飛び上がって喜び、涙を流して悔しさが残っている姿は、本当にこのころに響き、幸せをもらいます。そして今年も、たくましい紅軍に、中央高校に、感謝します。
（保護者・西 恭子さん）

青軍（1年）

「体育祭を終えて」
負けたという結果よりも全員で出し尽くしたという事を大事にしたいです。応援では、五十四期全員で青軍応援団をつくり上げてくれました。支えてくれたみんなに感謝の言葉しかありません。この団結力を、僕たち五十四期の原動力としていきたいと思っています。
（青軍団長・西 水品さん）
この夏、一枚の一枚のおきの写真ができました。仲間と肩を組み、校歌を歌っているすがすがしい息子の笑顔。忙しくも充実した毎日が、仲間によって支えられています。これからも、仲間と共に沢山の感動を味わってほしいです。
（保護者・西 りつこさん）

おじやまします

今回は、現在少人数で活動している部活動

- ① 活動状況について
- ② 部活動PR
- ③ 顧問より一言



ラグビー部

部長・村山叶真さん 顧問・森園博昭先生

- ① ラグビー部は現在部員一名で活動しており、外部コーチと顧問、OBの方々のご指導のもと日々練習を頑張っています。去年の秋に開催されたラグビーワールドカップから、日本のラグビー界は大いに盛り上がりを見せています。そして今年にはリオオリンピックがあります。これをきっかけにラグビーをしてみたいと思う人がいたらいいなあと思います。鹿児島中央高校のラグビー部の伝統を次の世代へと引き継ぎたいです。そして新しい仲間とラグビーがしたいです。
- ② 「ALL for one, one for ALL」の言葉通りのスポーツです。是非体験してみてください。



放送部

部長・高津優姫さん 顧問・二之宮奈緒先生

- ① 放送部の活動は、清掃時間の放送や行事の司会、進行です。また、読みや番組制作の技術を競う大会もあり、日々の発声や番組編集に励んでいます。
- ② 日々の発声練習は放送するときだけでなく、普段話すときでも聞き取りやすい発声を身につけることができます。また、番組制作時は、自分たちの好きな話題を映像にすることができ、放送部にしかできない経験がたくさんあります。
- ③ 自分の声や制作した番組によって、視聴者の方にとってオトクな情報や作品の世界を届けることができます、とても魅力的な部です！



JRCインターアクト部

部長・中玉利智ひろさん 顧問・當房哲也先生

- ① JRCインターアクト部は、文化祭での展示発表でボランティアに関する知識を深めたり、天文館で赤い羽根共同募金活動をしたり、各種イベントの設営に行ったりしています。
- ② 私は特に、赤い羽根共同募金がJRCインターアクト部ならではのイベントだと思います。天文館で大声を張り上げるのは、最初は恥ずかしいですが、多くの人に募金してもらおうと、とても心が温まります。興味のある人はぜひボランティアに参加してみてください。
- ③ ほとんどの生徒が兼部生。学習と部活動の両立の合間に、もう一役担っています。



写真部

部長・野田祥来さん 顧問・川元義久先生

- ① 現在二年生三名、一年生三名計六名で、一ヶ月に一回土日を利用して動物園や桜島などに行き、撮影等の活動を行っています。文化祭では日頃の成果や中玉戦の写真を展示し、体育館ではスライドショーも実演しました。
- ② 成果としては、今年度九州大会に一名出場することができました。今後更に活動を活発にしていきたい、撮影技術向上のため努力していきたいです。
- ③ 少ない部員ですが、活動は積極的です。今後更に部員が増え、全国・九州大会出場は勿論のこと、発表の機会を増やしていくことができます。ぜひと思えます。



華道部

部長・石神茉莉香さん 顧問・柳田亜矢先生

- ① 私たち華道部は、一年生二名、二年生五名で活動しています。活動場所は被服室で外部講師の先生に来ていただき、月に二回楽しく活動しています。
- ② 華道部では生け花の他に、母の日やクリスマスのアレンジメントも作って女子力を磨いています。部員もおだやかでお花の香りと癒しオーラに溢れています。素敵女子になりたい人や癒されたい人はぜひ華道部にお越し下さい。
- ③ 華道部の売りは何より人柄の良さです。包容力豊かな講師の重久先生のもと、素直な部員たちが、和やかな雰囲気でお花を楽しんでいます。

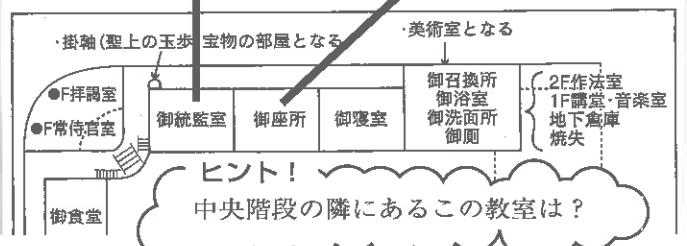
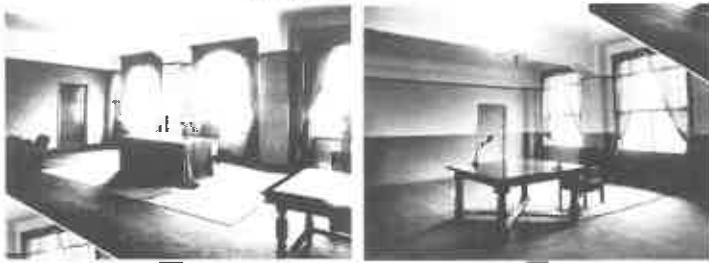


陸軍大演習の大本営がおかれた校舎

この校舎で、かつて昭和天皇が7日間滞在されました。陸軍大演習の大本営及び御座所となったためです。そのため、教室の広さや作りがそれぞれ違うというような箇所が残っています。中央階段の厳かな雰囲気も感じ取ることができます。



③現在のどの教室が、昭和天皇のいらっしやった場所にあたるか、ご存じですか？(答えは下部に！)



特集

意外と
知らない

鹿児島中央高校の歴史

かつての姿は 「県立第一高等女学校」

創立54年を迎えた県立鹿児島中央高校ですが、この校舎には、それ以上の歴史があるのです。

もともとは県立第一高等女学校(旧県立高等女学校)という学校で、明治34年に設立しました。昭和10年には、左記事にあるように陸軍大演習における大本営行在所ともなりました。その後、昭和24年に県立第一中学校と県立第一高等女学校が合併して、県立鶴丸高校が発足し、昭和39年に現在の薬師町へと移転します。それに伴い、新設校である鹿児島中央高校が、下伊敷(現県立短期大学)の仮校舎から、現在の校舎に移転したのです。



↑正門のすぐそばにあります



中庭がプールだったころ。女学校の名残ですね。



現在の姿。さて、(女世像の作品名は何でしょう？(答えは下部に！))

ここに歴史あり！



東郷平八郎誕生の地でもあります。②ここはどの教室でしょう？



東郷ゆかりのものが3階同窓会室に展示されています。(文化祭時開放)

「この校舎で学べることの喜びを感じてほしい」

校長先生がインタビューを快く引き受けてくださいました。ありがとうございます。



活躍！九州大会出場！

硬式テニス部女子団体

重田結衣子さん・元山果南さん・大渡重さん・川添里紗さん・上栗真祐さん・外園彩恵さん・亀田菜月さん・福田百華さん・松尾千春さん

放送部

高津優姫さん(アナウンス部門)

水泳部

高野真聡さん(50m平泳ぎ)、植木義将さん(50m自由形)、田畑貴弘さん(50m平泳ぎ)、重信佑樹さん(100m・200m背泳ぎ)、山崎葉汰さん(50m・100m平泳ぎ)、木塚早紀さん(50m・100m自由形)、400mリレー(高野真聡さん・植木義将さん・坂口光さん・重信佑樹さん)、400mメドレーリレー(三浦隼人さん・植木義将さん・重信佑樹さん・山崎葉汰さん)

そのほかにも...

音楽部

県高校音楽コンクール 声楽部門金賞 三島実重子さん
ピアノ部門金賞 伊地知幸さん

剣道部

学剣連かごしま剣道選手権大会 女子の部優勝 太良木あやかさん

その他

「小さな親切」作文コンクール 優秀賞 河合玲伽さん、
特選 東莉子さん・吉井知里さん
岩手国体出場 西 晴乃先生(剣道)、山口健人先生(バスケットボール)



PTA研修視察

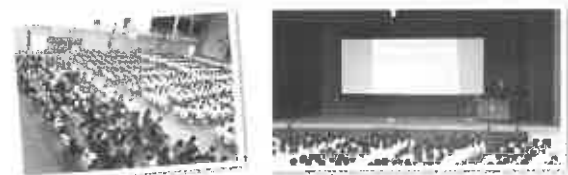
九州大学伊都キャンパス



6月29日、保護者30名と引率の先生方4名で新幹線とバスを利用した視察でした。学校紹介や施設散策等を行い、充実した視察となりました。

進路講演会

「努力の総量が結果を左右する」



10月11日火曜日午後、進路講演会が行われました。講師にベネッセホールディングスの執行役員で、エリア・教室事業カンパニー長であられる山河健二様が来校され、ご講話をいただきました。200名近い保護者の皆様にも参加していただき、体育館は満員となりました。